

(3)上記結果に基づき、討議した結果、全会一致で「小川敏夫参議院選候補を平成維新東京推薦」とすることが承認された。

【9】提案「菅直人総理大臣を実現する会」:

杉原より、表記会を設立したい旨の提案があり討議した。途中、小俣氏より、既に「菅直人を首相候補に指名しよう」運動があるとの報告があり(P.11参照)、杉原提案は取り下げ、「指名しよう」の会に有志協力の形で運動することとした。

【10】総会に向けての準備について:

次回副代表会議で結めることとした。

【次回】第35回運営会議:1998年6月5日(金)

18:30~21:00 新宿リサイクルセンター。

「平成維新東京」の各種活動状況

【A】東京2区・4月例会議事速報(大谷和夫)

日時:1998年4月25日(土)18:30~21:10

場所:喫茶室ルノアール蒲田西口店

出席:阿部秀嗣・溝端久興・直田正・杉本年行・大谷和夫・治田桂四郎

1. 前回議事録確認

「新ブレイクスルー思考」の海辺氏紹介講演は5月7日午後7時より8時まで、新宿リサイクルセンターで運営会議の際行われることになった旨報告された。

情報公開運動の成果として、4月22日(水)朝日新聞朝刊都内版の「食糧費37%減る。94-96年度の23区、市民団体が調査」という切り抜きを回覧紹介した。

総会関連事項として、代表の任期を4~5年とする提案について、治田代表に伝えた。

2. 4月副代表会議議事メモ報告

4月運営会議にエリア・マネージャーとして出席できなかったのを、治田代表より電子メールで連絡のあった副代表会議議事メモを紹介した。

民主党小川敏夫氏の推薦に関する調査結果では会員16名中、回答15名、内賛成11名、保留4名。城南地域では知名度が低いことが伺われた。

3. 新組織提案の討議

生活者通信4月号所載の山崎氏提案について討議を行った。

「なぜ新しい組織に変えるのか」に付いては概ね妥当であり、(我々が学んだ事)はその通りではあるが、ややきれいな事過ぎるのではないかと批判があった。

「平成維新東京結成から今日までの総括」は都議選年月の誤り以外はその通りであるが、最後の全国協議会との交流は説明不足との指摘があった。

「現状の認識と新しい枠組みの必要性」について、市民運動をやりたい人を包含すること、民主主義といいながら一般の政治意識が低いことに対して地道な啓蒙活動が必要ではないか、例えば政党政治といいながら、各政党の綱領や基本政策すら明確な比較検討が行われていないではないか等の意見があった。会の名称については、変えなくてもよいとの意見もあるが、現在の会名は長すぎるし、実現のプロセスが不明確との批判もある。

この為原案のような変更、或いは愛称を設けるとか、会議を倶楽部にしてもっとソフトにするとか種々意見があり、まとまる所までいかなかった。

しかし会名より中身の方が重要で、会員をふやすことは大切だが、それに伴う組織・体制を充分考慮しておかないと、平成維新の会の二の舞になるおそれがあるとの指摘もあった。

4. その他

治田代表も参加され、食糧費調査報告のマスコミ発表原稿、平成維新東京のパンフレット、民主党小川敏夫氏のパンフレット等配布紹介された。

又Newsweek 4.29/5.6 ゴールデンウィーク合併号が紹介され、アメリカの投資ブーム、自己責任型企業年金401k等が話題になった。

更に、HEISEIフォーラムに関連して、阿部会員がソフト会社を経営しているので、コンピュータの操作関連の質疑が行われた。

【B】東京5区・例会の記録(治田桂四郎)

日時:1998年5月2日(土)10:00~12:00

場所:練馬公民館

出席:秋沢・沖山(練馬区議)・小野寺・治田。

1. 前回(4月5日)以降の経過報告を行った。

- (1)4月6日(月)の情報公開特別委員会より
- (2)4月7日(火)の運営会議より
- (3)副代表会議(4月16日・木曜日)より
- (4)4月18日(土)16:00-18:00…首都圏市民会議
- (5)21世紀のライフスタイルを考える会の介護編で特別養護老人ホーム「けやきの苑・西原」渋谷区を見学(4月25日・土曜日午後1時半より)
- (6)4月25日(土)2区(品川区・大田区)定例会
- (7)4月28日(火)林ともじさんの会(アヤマ)より

2. 議題そのもの

- (1)ながつま昭さんの活動(選挙と国政について)
- (2)小川さんの活動(参議院選挙他)について
- (3)林ともじさんとの連携(都政について)
- (4)区政について(沖山さんから)
- (5)5月の運営会議、小川さんの推薦人、等

以上について話し合ったが、小川さんの参議院議員選挙の事が中心であった。新民主党が出来て、旧民主党のポスターが使えなくなったらしく、又、新民主党の小川敏夫さんの支援体制が、未だ出来てなく、従って、小川さんの自主的な活動や関係者の自主的な活動が、先ず期待される事になる。私から、都民の会の推薦人名簿が、順調に集まっているので、5月7日(木)の運営会議では推薦の採決が出来見込みであることを話し、その後は、会員の積極的な協力を要請していくことを説明した。いずれにしろ、小川さんの当落は、全く予断を許さない状況であることをお互いに認識した。

豊島区では、5月9日(土)と5月10日(日)に小川さんのポスター貼りを行うとのことでした。

練馬区議レベルで吉田公一さんのグループと民主みらいの関係が、中央とは、違い難しいと沖山さんからあった。私から、極力力を合わせるように要請した。(従来、吉田さんのグループは、岩波区長側で与党であったので)。

今度の運営会議では「新ブレイクスルー思考」のはなしが、海辺先生からあるので、出来るだけ参加するようにアピールした。

いずれにしろ、菅さんの率いる新民主党もいろいろな意味で前途多難の様です。しかし、大事なものは、菅さんをリーダーにして、皆が力をあわせることだと思うので、特に羽田さん他の協力を期待し祈る気持ちです。